

相原駅周辺街づくりに向けて 提言書

2010年3月

相原駅周辺街づくり及び都道整備検討会

〈はじめに〉

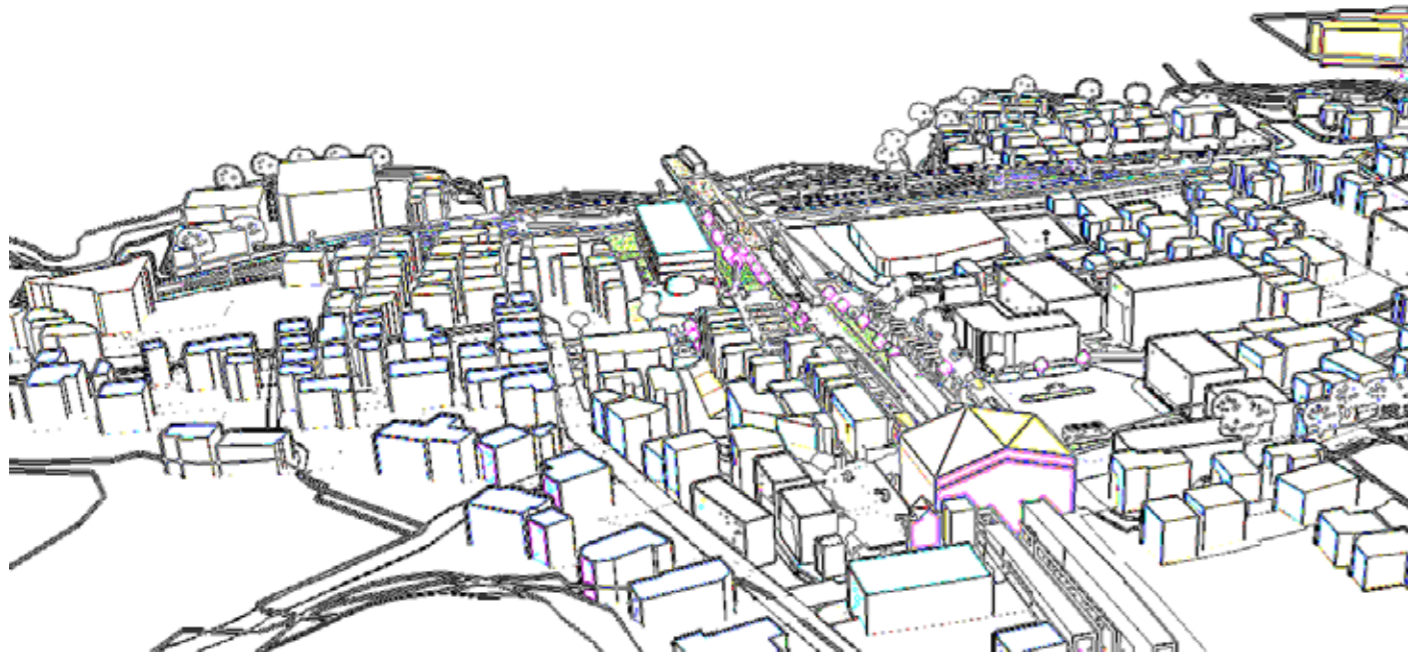
「相原駅周辺街づくり及び都道整備検討会」は2007年10月に発足してから、概ね3年間、相原駅周辺の現状調査、関連する街づくり事例と視察調査、そして、街づくりの提案と活動を積み重ねてきました。2008年と2009年には、地元「相原ふれあいフェスティバル」への参加、2008年度は、講師の方をお呼びし「魅力ある相原の街づくり」について講演をして頂くなど、地元の方々との交流や有識者などからのご意見などを頂きました。

これらを通じて、ここに“相原駅周辺街づくり構想”を提案し、東西の駅前の街づくりについて、「相原駅周辺街づくりについて 提言書」としてとりまとめることが出来ました。

今後も、より良い「相原駅周辺の街づくりに向けて」、様々な方々のご意見やご提案などにより、この提言がさらに良いものとなり、相原駅周辺が地域に集う様々な方々が、安全で安心して、気持ち良く暮らし、交流できる街が実現できるよう願っています。

この活動に参加して頂いた方々、また支援して頂いた方々に、感謝致します。

相原駅周辺街づくり及び都道整備検討会 座長 石井 悟



〈相原駅周辺街づくりに向けて 「提言の骨子」〉

- 相原駅周辺街づくり及び都道整備検討会の経緯
- 相原駅周辺街づくり宣言
- 相原駅周辺街づくり構想

「大戸踏切立体化と都道整備」に端を発した経緯を整理し、本検討が活動を通じてとりまとめた「相原駅周辺の街づくり」について報告します。

相原駅周辺街づくり及び都道整備検討会の経緯

〈大戸踏切立体化と都道整備の契機〉

☆出発点

- ・大戸踏切立体化と都道整備にともなう課題など
- ①大戸踏切の慢性的な渋滞（周辺地域における都市開発等の影響）
- ②災害時等における緊急車両等の交通確保
- ③圏央道整備による増加交通への対応

など

〈相原駅周辺街づくり及び都道整備検討会〉の設立 2006.10

☆大戸踏切立体化の実現には、「相原駅周辺の街づくり」と連動し、課題を解消することが必要。

- ・地元関係者を中心に検討会を構成する。
- ・大戸踏切立体化と都道整備の具体的な検討を進めることと、これに関連した「相原駅周辺街づくり」について検討する。

〈相原駅周辺街づくり及び都道整備検討会報告会〉

☆「相原駅周辺街づくり及び都道整備検討会」の成果を地元へ報告
☆提言書の提出

☆課題解消への視点

- ・道路沿道の商店、住宅の立ち・道路沿道の商店、住宅の立ち退きが必要
- ・相模原市側、堺市民センターへのアクセスなど、東西南北の行き来が不便になる
- ・大戸踏切立体化や都市計画道路の整備と併せた街づくり

〈今後の取り組み〉

☆「相原駅周辺街づくり構想」を踏まえた具体的な検討

相原駅周辺街づくり宣言 2010

〈コンセプトをまとめるキーワード〉

●「学」拠点●安全・安心・やさしい●レクリエーション・憩い・癒し●将来を見据えた先導性●環境・自然・持続可能

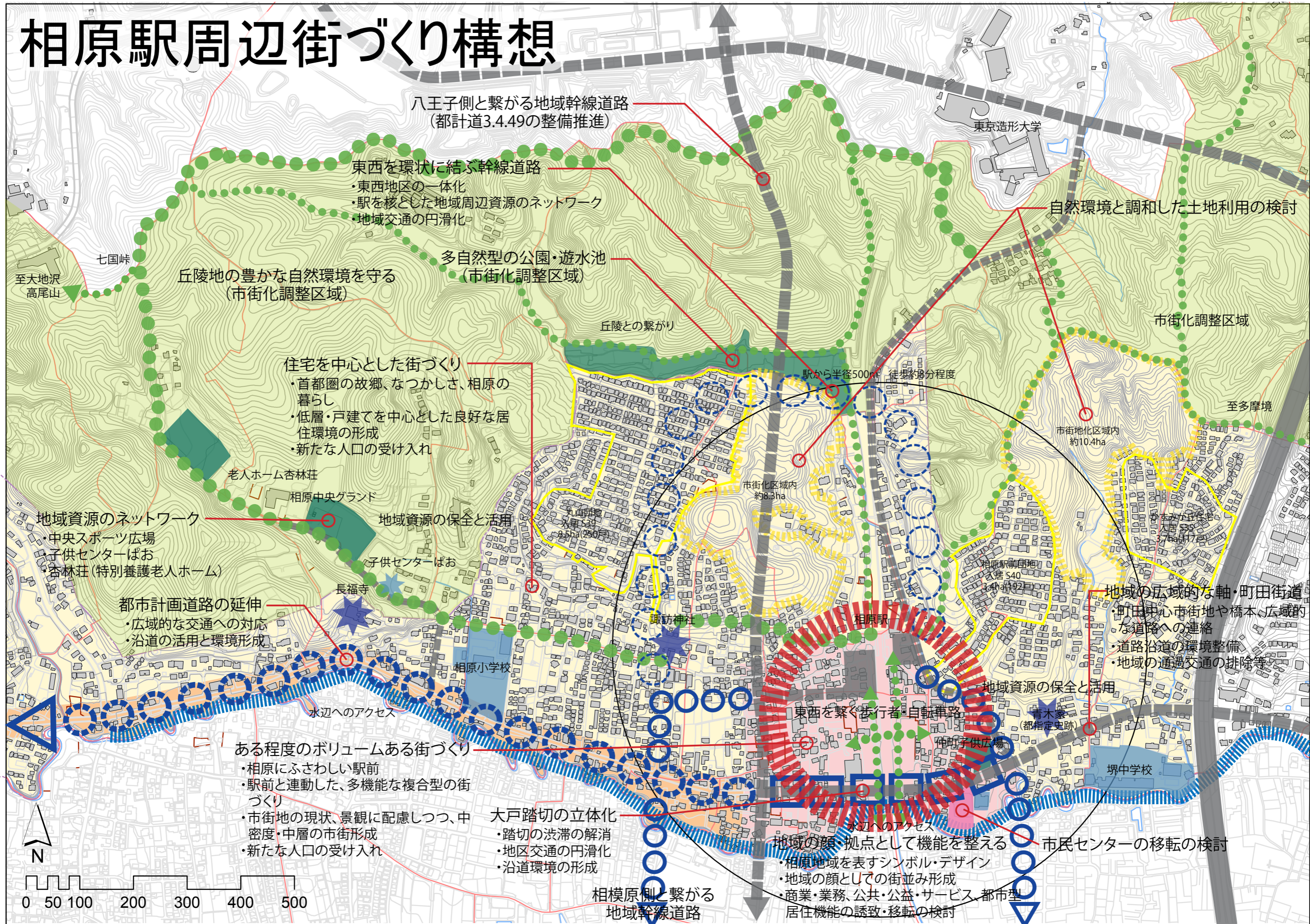
〈相原駅周辺街づくりコンセプト〉

- ・地域の自然・歴史・文化資源を継承し、「学」と「住」機能を活かした相原駅周辺街づくり
- ・人と環境にやさしい、安全・安心な街、相原駅周辺
- ・豊かな自然を背景とし、集う人と住まう人による文化の薫り高い相原駅周辺街づくり

〈相原駅周辺街づくりの指針〉

- 1.街を縁取る豊かな自然環境(丘陵と川)と共生した、環境に優しい街づくりを進めます。
- 2.街の顔・地域の拠点として、「賑わいと活気」ある街づくりを目指します。
- 3.相原の原風景となる景観を守るとともに、将来に向けた新しい街並み景観を創ります。
- 4.暮らしに必要な事柄を徒歩や自転車で済ますことの出来る、快適で回遊性のある生活圏を構築します。
- 5.相原の自然、歴史・伝統を継承し、訪れる人、集う人、暮らす人が、交流を通じて、豊かな心を育める街づくりを目指します。

相原駅周辺街づくり構想



八王子側と繋がる地域幹線道路
(都計道3.4.49の整備推進)

東西を環状に結ぶ幹線道路
・東西地区の一体化
・駅を核とした地域周辺資源のネットワーク
・地域交通の円滑化

丘陵地の豊かな自然環境を守る
(市街化調整区域)

多自然型の公園・遊水池
(市街化調整区域)

丘陵との繋がり

自然環境と調和した土地利用の検討

市街化調整区域

住宅を中心とした街づくり
・首都圏の故郷、なつかしさ、相原の暮らし
・低層・戸建てを中心とした良好な居住環境の形成
・新たな人口の受け入れ

駅から半径500m 徒歩約8分程度

市街化区域内 約10.4ha

市街化区域内 約8.3ha

地域資源のネットワーク

地域資源の保全と活用

- ・中央スポーツ広場
- ・子供センターぱお
- ・杏林荘(特別養護老人ホーム)

子供センターぱお

都市計画道路の延伸

- ・広域的な交通への対応
- ・沿道の活用と環境形成

長福寺

水辺へのアクセス

相原小学校

諏訪神社

相原駅

地域資源の保全と活用

青木家(都指定史跡)

俣町子供広場

堺中学校

地域の広域的な軸・町田街道

- ・町田中心市街地や橋本、広域的な道路への連絡
- ・道路沿道の環境整備
- ・地域の通過交通の排除等

ある程度のボリュームある街づくり

- ・相原にふさわしい駅前
- ・駅前と連動した、多機能な複合型の街づくり
- ・市街地の現状、景観に配慮しつつ、中密度・中層の市街形成
- ・新たな人口の受け入れ

大戸踏切の立体化

- ・踏切の渋滞の解消
- ・地区交通の円滑化
- ・沿道環境の形成

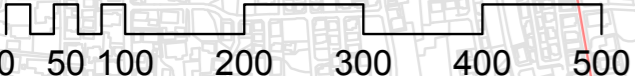
相模原側と繋がる地域幹線道路

東西を繋ぐ歩行者・自転車路

地域の顔・拠点として機能を整える

- ・相原地域を表すシンボル・デザイン
- ・地域の顔としての街並み形成
- ・商業・業務・公共・公益・サービス、都市型居住機能の誘致・移転の検討

市民センターの移転の検討



〈各分科会の検討内容〉

○東駅前街づくり物語 ～駅東の街づくりを検討する分科会～

○西駅前街づくり物語 ～駅西の街づくりを検討する分科会～

○大戸踏切立体化について

～大戸踏切立体化と都道整備に関する分科会～

本検討会の中でとりまとめた「相原駅周辺街づくり構想」に基づき、それぞれの特性を持った駅東と駅西の街づくりについて、各分科会においてさらに検討を深めました。併せて、大戸踏切立体化について、3Dのモデルを作成し、基本的な課題について取りまとめました。

〈東駅前の街づくりコンセプト (基本方針)〉



▼アート (芸術) をテーマとした街づくり

- ・芸術系の周辺大学と連携し、アート (芸術) を展示する拠点をつくる。
- ・拠点を巡る芸術ウォーキング、芸術祭等の開催
- ・地域に学生が入ってくる事による活性化 など

水都大阪2009 淀川と大阪湾のゴミで出来た魚のオブジェ



御堂筋の彫刻



砂の城



使用済みおもちゃの恐竜



▼「食」をテーマとした街づくり

- ・駅前の狭い通りを活かした、「食」をテーマとした商店街
- ・地元の食材 (山芋等) で出来たてをつくる など

道頓堀の屋台 たこ焼きのお店



黒門市場



水都大阪2009 朝市「地元のええもん」



▼「花」をテーマとした街づくり

- ・資本がいらずに、地元の努力で人を呼べる
- ・いろんな所での成功事例がある

花のあふれるまちづくり(千葉市) NPO法人はな街道(中央区 中央通り) クリーンウォーク (清掃活動)



広場での花壇展示



花の植え替え



地元企業等とのタイアップ



▼「エコ・環境」をテーマとした街づくり

- ・歩行者・自転車中心の歩ける街づくり…生活道路は確保
- ・駅前に車を入れないシステム、電気自動車・バス等
- ・自然エネルギーの活用等 (化石燃料は極力使わない)

歩けるまちづくり(金沢市)



出典: コミュニティデザイン (建築情報センター・パンフレット) に掲載

▼「利便性の向上」をテーマとした街づくり

- ・駅前広場、駅までの道路の整備
- ・公共公益、サービス等、都市機能の配置

JR横浜線淵野辺駅北口



戸越銀座商店街



JR青梅線昭島駅前 モリタウンのモール



〈東駅前の街づくりの展開〉

個性ある駅東の街づくりを実現するためには、どのような具体的な街づくりが必要でしょうか。実際の駅東の街にあてはめて考えてみました。

- ・「大戸踏切の立体化」が進められるのと併せて、東の顔となる駅前の整備と町田街道から駅前へとアクセスする駅前道路の整備が必要と考えます。ここでは、堺市民センターへの自動車のアクセスも考慮し、駅前道路と町田街道が合流する部分に十字の交差点を設ける事が大事と考えます。
- ・次に駅南の市有地ですが、「東・駅南の拠点」として、公共的機能と都市型住宅などを配置する事を提案します。ここは、町田街道の旧道の延長に駅東へと連絡する「東西連絡通路」を設けることにより、西にある「既存商業施設」とともに、相原駅と堺市民センター、旧道沿いの「青木家」、公園などを結ぶ、東駅前南の要（かなめ）となります。
- ・続いて、この「東・駅南の拠点」と東駅前とを結ぶ軸上に、既存の商店を活かした「東駅前路地商店街（活性化の軸）」の形成を図ることが必要と考えています。
- ・これらの街づくりの展開に呼応して、駅前との機能分担や地元学生の交流など新たな機能の導入を含めて「堺市民センターの再整備」を検討する事が必要です。
- ・これらの展開と連動して、規制誘導などにより「地区内の生活道路を整える」こと、都市型の機能に展開を図ることにより「複合型の街づくり」を進めていくことが大事と考えます。

〈東駅前〉

地域の顔・拠点として機能を整える

- ・駅東のゲートとなる駅前広場の整備
- ・相原地域を表すアートによるシンボル・デザイン
- ・地域の顔としての街並み形成（花を飾る等）
- ・商業・業務、公共公益サービスなどの検討
- ・自転車・歩行者ネットワークの拠点

〈駅前道路〉

新しい駅前道路の整備

- ・町田街道から東駅前へのアクセス
- ・都市的機能、都市型住宅の誘導
- ・相原の個性ある駅前街並みづくり

〈駅前街区〉

複合型の街づくり

- ・相原に相応しい駅前
- ・駅前と連動した、多機能な複合型の街づくり
- ・中密度・中層の街づくり
- ・新たな人口の受け入れ

〈駅前道路と町田街道の交差点〉

新たな交差点の整備

- ・東駅前及び堺市民センターへの良好なアクセスの確保

〈生活道路の確保〉

地区内の生活道路を整える

- ・規制・誘導による道路づくり
- ・空地・未利用地の活用

東駅前・活性化の軸づくり

- ・駅前の商業機能の強化（商店街形成のルールづくり、「食」をテーマ等）
- ・安心して歩ける通り
- ・駅を中心とした回遊

市有地の利活用・拠点づくり

- ・公共・公益的機能
- ・大学サテライト
- ・商業機能の補完
- ・都市型居住機能

堺市民センターの再整備

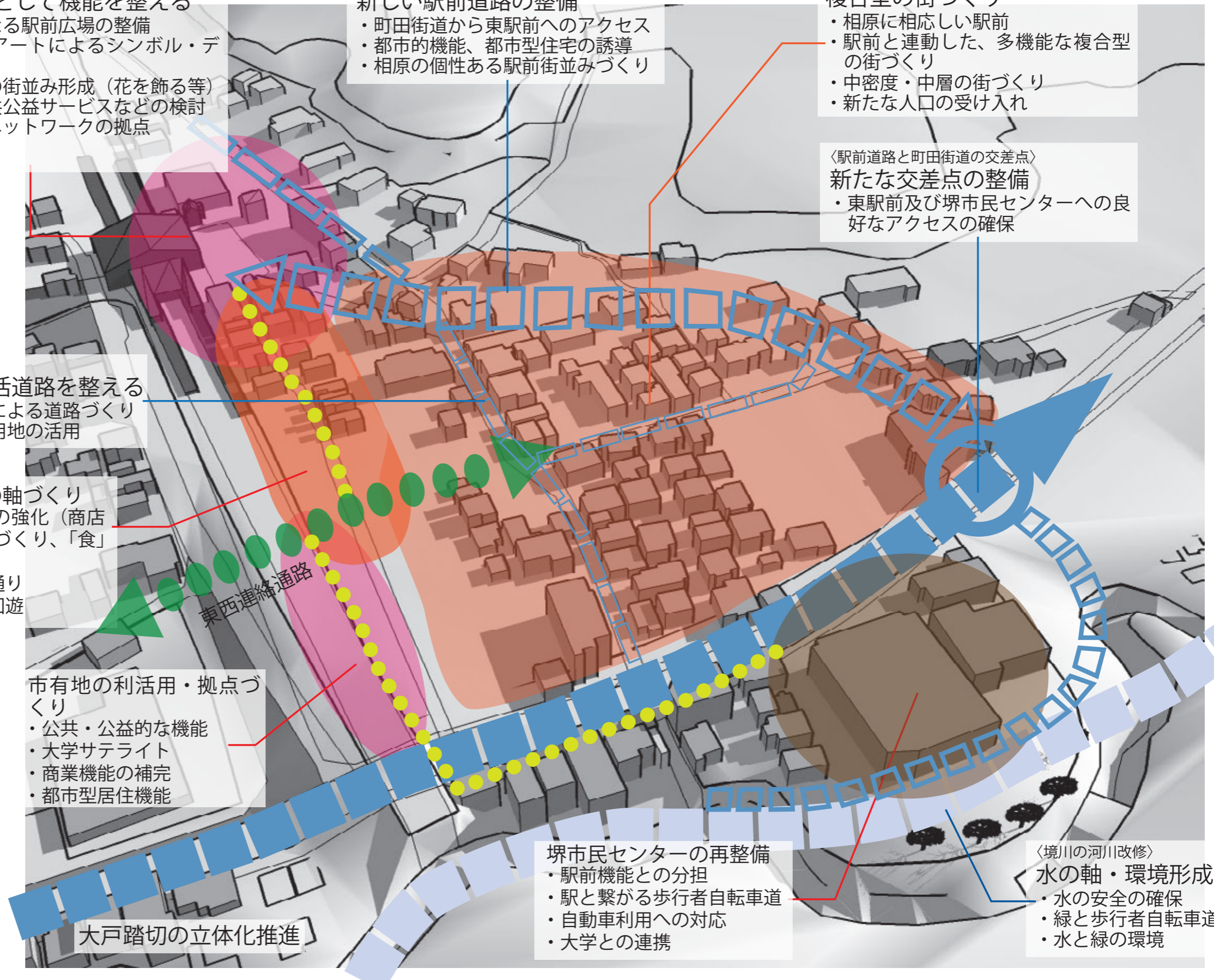
- ・駅前機能との分担
- ・駅と繋がる歩行者自転車道
- ・自動車利用への対応
- ・大学との連携

〈境川の河川改修〉

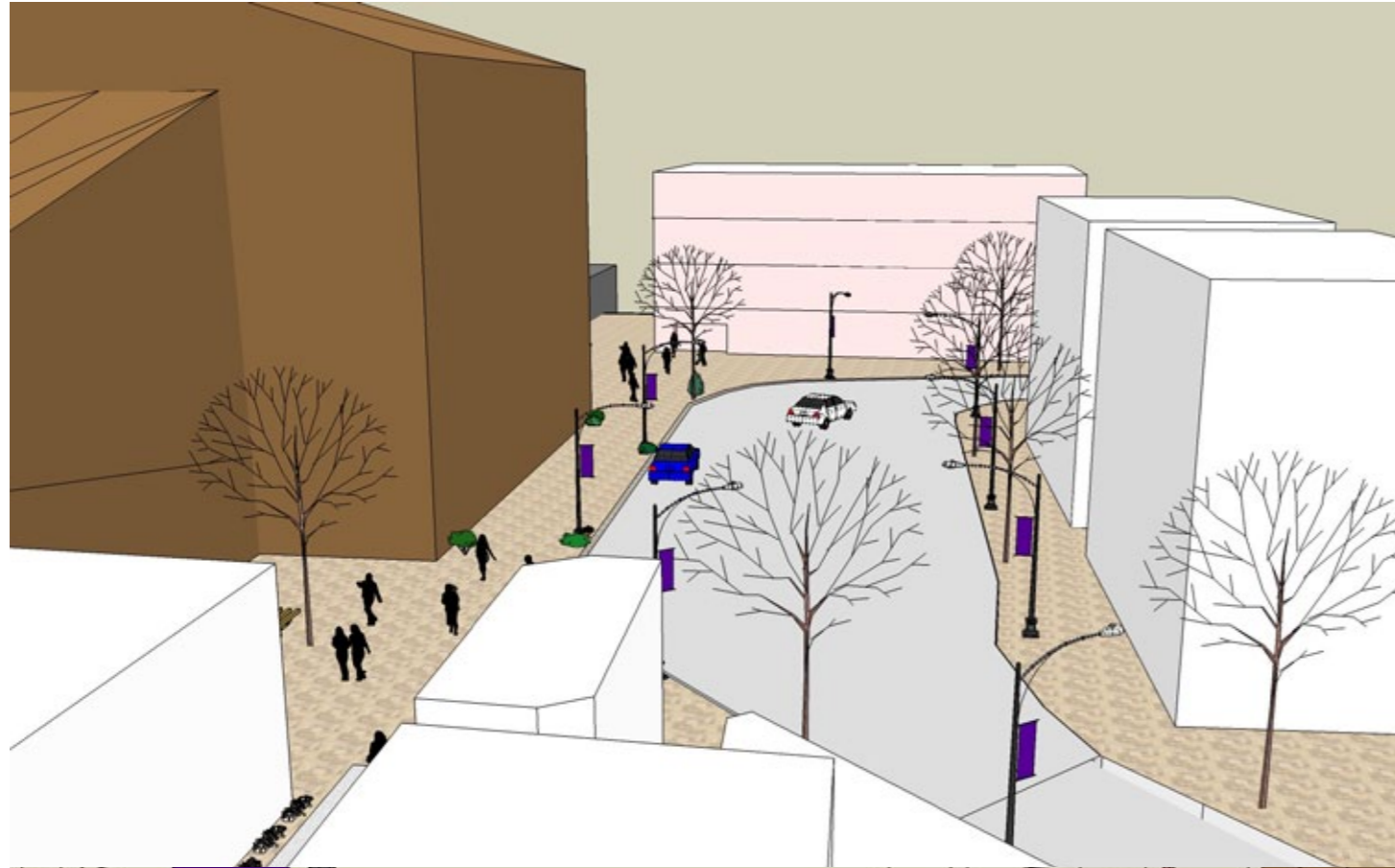
水の軸・環境形成

- ・水の安全の確保
- ・緑と歩行者自転車道
- ・水と緑の環境

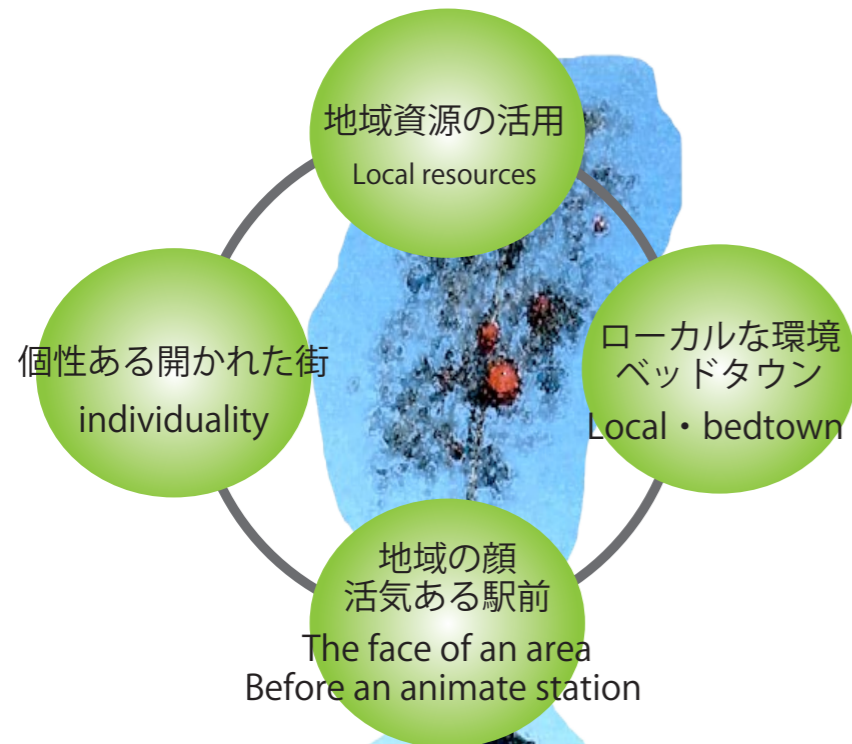
大戸踏切の立体化推進



〈東駅前のイメージ〉 3Dモデルによる検討



〈西駅前の街づくりコンセプト (基本方針)〉



▼地域の資源を活かした街づくり

- ・多摩丘陵～大地沢～高尾などの自然環境
- ・神社仏閣など、歴史や伝統
- ・中央公園などの新しいスポーツレクリエーションの活用と連携 など

○丘陵地からの景観→低層の住宅地、丹沢や富士山への景観



○丘陵地への景観→市街地側から地域のまとまり ○諏訪神社



▼個性ある、訪れた人に開かれた街

- ・地域資源を活かした街づくりを進めることともに、訪れる人に開かれた街でないといけない。
- ・田舎臭いけど、すごいといわせるような駅前（どこにでもあるような駅前にはしたくない）
- ・路地や斜面、樹林など、街の特性を活かした街づくり
- ・利用者のニーズを取り込むことが必要
- ・訪れる人の観光的な視点が必要 など

○相原駅西駅前広場と駅前道路計画地→これから地域の顔としての駅前づくり



○相原ふれあいフェスタ2009、地域の交流 ○個性ある吉祥寺の街並み



▼ローカルな環境を活かしたベッドタウン

- ・交通の利便性を活かした居住地（八王子、新宿、横浜等）
- ・周辺の自然環境、これと調和した建て込んでいない低層住宅地
- ・相原に帰ってきて、ほっとするような環境 など

交通の利便性を活かした居住地（八王子、新宿、横浜等）
周辺の自然環境、これと調和した建て込んでいない低層住宅地
相原に帰ってきて、ほっとするような環境 など

○住宅と農地が混在、ミックスユース



○市街地の中の路地→残し、活かしていけるか



○斜面開発→規制・誘導



○市街化→どんな住宅地を目指すのか



▼地域の顔となる駅前づくり

- ・地域性を活かした設え、デザイン、モニュメント、街並みづくり等
- ・地元商店街を活かした相原独自の活気ある駅前
- ・街づくりの方法と連動した駅前のボリューム検討 など

○既存の商店街との共存



○共同化ビル→低層=商店・事務所、上層=住宅



戸越銀座



○活気ある駅前商店街→路地や通り



通りに面し、2階レベルの軒先の連続



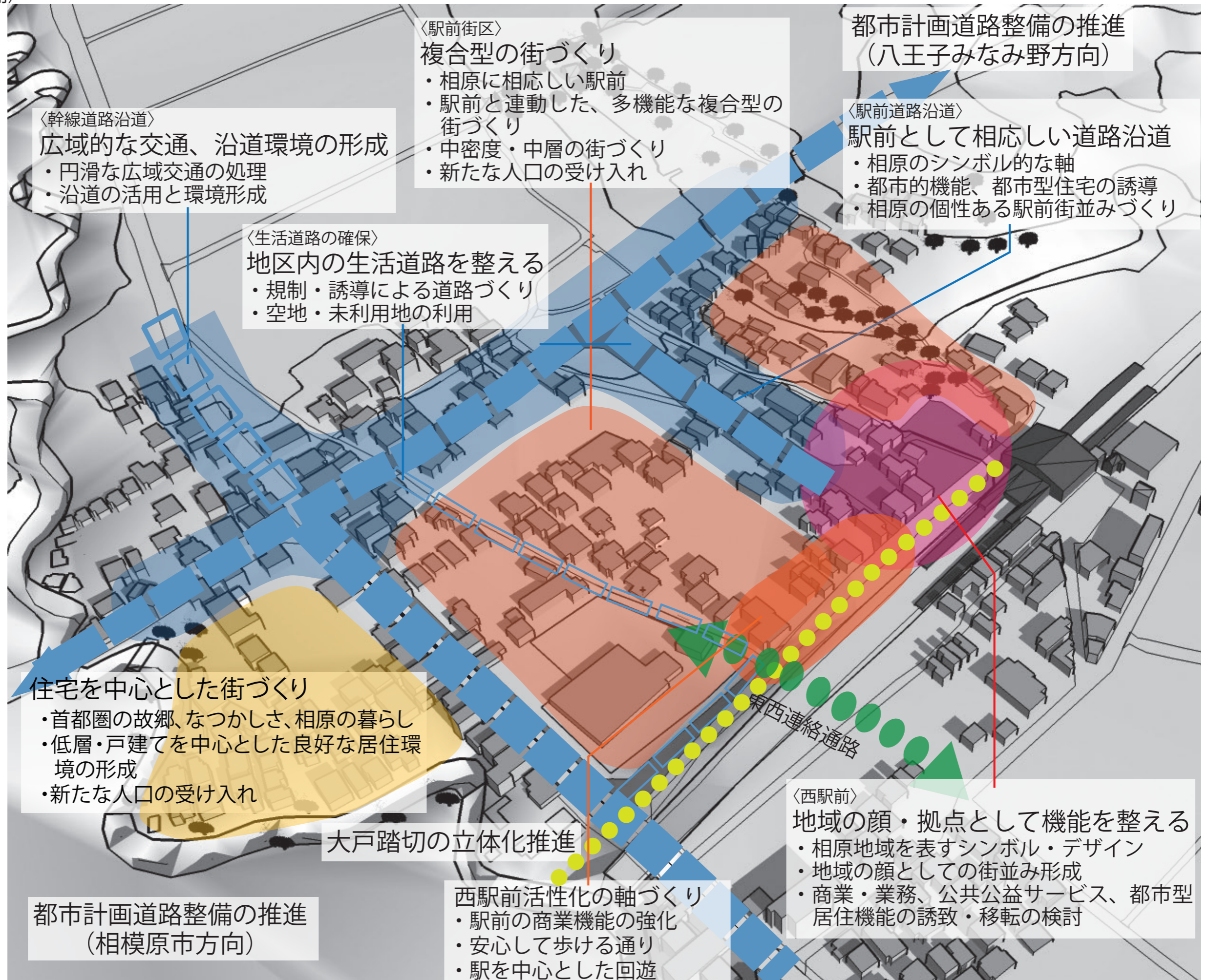
- ・活気の創出=訪れる人のニーズ(大学、レクリエーション・スポーツ等)
- ・地元を中心とした活性化の検討、活動
- ・行政等の支援や拠点整備などの街づくりのインパクトの創出

母と手をつなぐ少女
二人乗りの高校生
歩車共存道路 (インターロッキング、透水性等)
新しい建物 (通りからセットバック)

〈西駅前街づくりの展開〉

駅西の特性を活かした街づくりを実現するために、次のような街づくりの展開を提案します。

- ・まずは、「大戸踏切の立体化」が進められるのと併せて、駅西の「駅前活性化の軸づくり」を進めることが大事と考えます。ここでは、市の駐輪場をリニューアルし、商業や大学のサテライト、屋上庭園、駐輪場などの複合的な施設とします。駅前広場から町田街道に至る現道を歩行者と自動車と共存するモールとします。これらにより「駅西モール商店街」を形成します。
- ・さらにこの効果を活かすように「東西連絡通路」を通すことを提案します。これらにより西駅前の「地域の顔・拠点として機能」が整えられます。この段階で概ね東駅前と連携した、駅前づくりが完成します。
- ・次の段階としては、南北に走る都市計画道路が八王子みなみ野方面に整備されることと併せて、この道路の沿道や駅前として相応しい道路沿道を整えることが必要と考えます。
- ・続いて、地区内道路を整えつつ「複合型の街づくり」や「住宅を中心とした街づくり」を段々と進めていくことが必要です。
- ・さらには、町田街道の都市計画道路としての西への延伸、境川の河川改修が行われ、地域全体としての骨格的な街づくりが進みます。



〈西駅前のイメージ〉 3Dモデルによる検討

